

【事例】「鹿野祭り」の円滑な実施のための特殊舗装等の整備

社会資本の概要	【所在地】 鳥取県鳥取市 【社会資本の種類】 道路 【社会資本の名称(事業名)】 鹿野往来(鹿野地区街なみ環境整備事業) 【事業主体】 鳥取市(旧・鹿野町) 【供用開始時期】 2004 年
配慮の概要	街並みの整備にあたって、伝統的な鹿野祭りで屋台を円滑に牽くことができるよう、交差点の舗装を屋台が回転しやすいものとするなどの工夫をしている。また、祭りに似合う街並みを演出する工夫を随所に施している。
位置図	
施設の状況写真	 鹿野祭りの様子。  様々な音色や光の反射が楽しめる「鹿野往来」のせせらぎ。  黒と白の御影石を交互に敷いて塗装の代わりとした横断歩道。

観光との関わり	鹿野町は、鹿野城の城下町として栄えた町である。鹿野城下と鳥取城下を結ぶ「鹿野往来」は、中国地方に数多く存在する歴史・文化・自然の再発見・活用を支援する夢街道ルネサンス推進会議により夢街道ルネサンス認定地区にも認定されている歴史的な街道であり、観光客は城下町の面影を残す街なみの景観や街道の散策を楽しんでいる。 また、2年に一度開催される鹿野祭りは400年続いた伝統行事であり、鹿野往来を含む城下町一帯を屋台4台、武者行列などがゆっくり練り歩くものである。鹿野町の住民と行政は一体となってこの鹿野祭りを円滑に実施することを主眼に置き、鹿野祭りの似合う和風の街なみ景観を維持するための整備を進めている。
配慮事項	○街なみ整備の経緯 鹿野町は「鹿野祭りの似合うまち」という基本構想のもとに、1994年から街なみ環境整備事業に取り組み始めた。この行政による活動に住民も刺激を受け、2001年に「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」を設立し、2003年にはNPO法人格を取得して行政とともに活発な活動を続けている。 ○街なみ整備における祭りの実施に対する配慮 町内の道路は鹿野祭りがスムーズに行われるように、以下のようなきめ細やかな整備を行っている。 ①祭りの屋台を回転させる交差点は、屋台を回転させやすいように滑らかな石で舗装しているうえ、屋台の重量に配慮して特殊な工法(大型バスの重量にも耐えられる工法であるインジェクト工法)を採用している。 ②ぼんぼりを立てる穴や、結界を示すための支柱を立てる穴を開けた石をあらかじめ道路に組み込み、祭りの会場をスムーズに設営できるようにしている。 ③祭りの開催時に各屋台の出発地点が定まらず、住民同士がもめることがあったが、道路にあらかじめ出発位置の目印となる石を埋め込むことによって解消した。 ○街なみ整備における観光客に対する配慮 祭りに似合う伝統的な街なみを維持するために、以下のようなこだわりの路面舗装や建物の修景を行っている。 ①路面は鹿野の街並みとの色調に配慮して京都府城陽市産の石を用いたこだわりの土色舗装であり、脇の水路は御影石を縁石としている。 ②交差点の横断歩道はペイントではなく、黒と白の御影石を交互に組み合わせることによって表現し、周囲との違和感をなくしている。 ③沿道の駐車場には、道に面した部分にポケットパークを設け、道路から車が見えにくいような配慮を施している。 ④それぞれの町ごとの歴史と伝統を誇りに感じる町民の意識がさらに高まることを目指して、また、「鹿野祭りの似合うまちなみ」がより一層演出されるように、随所に設置された石行燈や祭りで使用する屋台には各町の町紋を入れている。 ⑤道路脇の水路に瓦を縦に埋め込み、様々な音色やせせらぎの光の反射が起きるように工夫しており、耳でも観光客を楽しませるよう配慮している。
連絡先	鳥取市役所鹿野町総合支所 地域振興課 TEL:0857-84-2011 http://www.city.tottori.tottori.jp/www/genre/000000000000/1187945015775/index.html